

Information

トマトの
販売場所

JA常陸直売所

- ・みどりの風(笠間市平町1248)
 - ・土からのたより(笠間市押辺2709-137)
 - ・めばえ(笠間市笠間4376)
- 市内カスミ各店舗 等

☎村上 TEL.0296-77-2388



写真左から

グルメイト 川上 由美子 さん、小林 三津子 さん、トマト農家 村上 隼人 さん



甘味と酸味のバランスが良いトマト。春に近付くにつれ甘くなるということで、味の変化も楽しみです。

今日の訪問先
トマト農家
村上 隼人 さん

食べて
『かさま』応援!

グルメ紀行



物心ついた時から身近にあったトマト

本日お伺いしたのは大田町のトマト農家、村上隼人さんの農園です。「父がトマト栽培を行っていて、生まれた時から農業を見て育ったので、自分が継ぐことになるだろうと思っていました。」とのこと。現在は、大型の鉄骨構造のハウスでの栽培をメインに、合計で37アールのトマトを栽培しています。「実際にトマト栽培に取り組み始め、今ではすっかりトマトに夢中になりました。できれば、ずっとハウスの中にいて、ずっとトマトと向き合っていたと思うほどです。」と話す村上さん。6、7年前からはオランダの農業コンサルタントの講習を受け、日々トマト栽培について勉強しています。

こだわりの水耕栽培と徹底した栽培管理

村上さんが取り組んでいる「水耕栽培」は、土を使わず土に変わるロックウールという培地と水と液体肥料で植物を育てる方法で、根の状態をコントロールしやすいそうです。

トマト栽培の難しい点を伺うと、「光合成でできる糖を、いかにしてトマトの実まで届けるかが難しいところです。光合成によって生まれた糖は、トマトの呼吸量が多いと消費されてしまいます。そのため、測定機器で日光の量を測り、液体肥料や二酸化炭素の量を調整することで呼吸量をコントロールしています。また、室温や湿度、光の量に対してトマ

取材を終えて

- ☑「トマト栽培に夢中で、楽しくて仕方ない」とお話しされていたことが、とても印象的でした。
- ☑データに基づいてトマトを管理していて、とてもハイテクだと感じました。お父様からトマト栽培を受け継いだ後も、より美味しいトマトをたくさん作ろうと努力されている姿が印象的でした。消費者としては、安心・安全に食べられるよう気遣っているという点も嬉しいです。

いつかトマトの先生に

今後の展望を伺うと、「日々研究を積み重ねた結果、今ではトマトの味と収量を安定させることができました。ここからさらに「味の良さ」を追求していきたいと考えています。数値に基づき科学的に栽培していると、こうしたいと考えてトマトに働きかけた結果が、きちんと返ってきて、それがとても楽しいんです。もっと勉強して、「トマトの先生」になりたいという思いがあります。」と話していました。

トの葉の量の調整も行います。」とのこと。トマト栽培に必要なデータはすべて測定され、パソコンに逐一記録されています。自宅で一息ついてるときもデータを確認しているそうです。細やかな管理がされています。

病害虫への対策について伺うと、「安心して食べられるトマトを作りたいという思いと、栽培する自分たちの安全も考え、植物性の油で虫を窒息させるという方法で殺虫しています。また、納豆菌を用い、暖房機の除湿運転を徹底することで、病気はほとんど発生していません。」とのこと、病害虫は発生させないということを第一に考えているそうです。

※取材にご協力いただける農家や地産地消協力店を随時募集しています。